

Voice of Students

ここに掲載しているのは、2016年度のプロジェクトゼミを履修した学生が学期末に提出した課題レポートからの抜粋です。テーマは、「この授業を履修する前の、過去の自分を具体的な読者として想定しながら、次年度の履修者に対するアドバイスとメッセージを1,000字程度の文章にまとめる」というもの。彼らの言葉から、プロジェクトゼミならではの真剣さと熱気を感じてみてください。

自分の視野の狭さを痛感する。その先に、思考法のレベルアップがある。



「キツイ、しんどい、課題が多い」という噂、それはすべて事実です。

一番大切にしてもらいたいのは、コミュニケーション。本質は、LINEでは伝わらない。

プロジェクトゼミを通じて、“学ぶ”ということの本当の意味と、その楽しさを知りました。

どんなに辛く大変でも、たったの3か月半。それを乗り越えられるかどうか。

今の自分に自信がない人、不安や迷いがある人にこそ、このゼミに参加してもらいたい。



このゼミが始まってまず最初に驚いたのは、本当に「自分たちが行動を起こさないと何一つ始まらない」ということでした。

すべての経験は、無駄にならない。



とことん人と向き合うことで、自分の長所も短所も見えてくる。それがプロジェクトゼミ。

これまでのプロジェクトゼミにご協力いただいた企業経営者のみなさま

2014
年度

サントリーホールディングス株式会社



代表取締役副会長

鳥井信吾氏

(1975年理学部卒業)



課題テーマ

「甲南大学の生き残り戦略」

2014
年度

モロゾフ株式会社



代表取締役社長

山口信二氏

(1981年経済学部卒業)



課題テーマ

「女性が活躍する社会」

2015
年度

ミズノ株式会社



相談役会長

水野正人氏

(1966年経済学部卒業)



課題テーマ

「ニュービジネスの可能性」

2016
年度

小林製薬株式会社



代表取締役副会長

小林豊氏

(1968年文学部卒業)



課題テーマ

「何が企業の失敗と成功を分かつか?」